

定 款

社会福祉法人わかたけ共済部

変更申請年月日	令和 5 年 6 月 30 日
変更許可年月日	令和 5 年 7 月 7 日
登 記 年 月 日	令和 3 年 2 月 22 日

社会福祉法人わかたけ共済部 定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 養護老人ホーム（特定施設入居者生活介護）の経営
- (ロ) 特別養護老人ホームの経営
- (ハ) 軽費老人ホーム（ケアハウス）（特定施設入居者生活介護）の経営

(2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 保育所の経営
- (ロ) 認定こども園の経営
- (ハ) 児童の福祉の増進について相談に応じる事業の経営
- (ニ) 老人短期入所事業の経営
- (ホ) 老人デイサービス事業の経営
- (ヘ) 老人介護支援センターの経営
- (ト) 老人居宅介護等事業の経営
- (チ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営
- (リ) 放課後児童健全育成事業の経営
- (ヌ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営
- (ル) 一時預かり事業の経営
- (ワ) 障害福祉サービス事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人わかたけ共済部という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を福井県越前市高木町12字7番地1に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上11名以内を置く。

2 前項で定めた評議員の員数を欠くことに備え、補欠の評議員1名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、職員1名、外部委員1名以上の合計3名以上で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が1名以上出席し、かつ、外部委員が1名以上賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、各年度の評議員一人当たりの各年度の総額が100万円を超えない範

困で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

2 評議員会に議長を置き、その都度評議員の互選で定める。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 公益事業・収益事業に関する重要な事項
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半

数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者毎に第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第16条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

第4章 役員及び職員

（役員の数）

第16条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名以上10名以内
- (2) 監事 2名

2 前項で定めた理事の員数を欠くことに備え、補欠の理事1名を置く。

3 理事のうち1名を理事長とする。

4 理事長以外の理事のうち、1名を業務執行理事とすることができる。

（役員を選任）

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（役員資格）

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

- 2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

（理事の職務及び権限）

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

- 3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（役員任期）

第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 後任として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 3 理事又は監事は、第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

（役員解任）

第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

（1）職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

（2）心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

（役員報酬等）

第23条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

（責任免除）

第24条 理事、監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、社会福祉法人に対し賠

償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第45条の22の2において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

(責任限定契約)

第25条 理事（理事長、業務執行理事、業務を執行したその他の理事又は当該社会福祉法人の職員でない者に限る。）、監事（以下、この条において「非業務執行理事等」という。）が任務を行ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない時は、金10万円以上であらかじめ定めた額と社会福祉法第45条の22の2にて準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項第2号で定める額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができる。

(職員)

第26条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 相談役

(相談役)

第27条 この法人に、相談役若干名を置くことができる。

2 相談役は、理事会の同意を得て理事長が委嘱する。

3 相談役は、この法人の業務について、理事長の諮問に答える。

4 任期については、役員任期に準ずる。

第6章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べた時を除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(資産の区分)

第33条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産及び収益事業用財産の4種とする。

- 2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。
- 3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産及び収益事業用財産以外の財産とする。
- 4 公益事業用財産及び収益事業用財産は、第42条に掲げる公益を目的とする事業及び第43条に掲げる収益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第34条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、福井県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、福井県知事の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設

整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第35条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。
- 3 前項の規定にかかわらず、基本財産以外の資産の現金の場合については、理事会の議決を経て、株式に換えて保管することができる。

(事業計画及び収支予算)

第36条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
- (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第38条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第39条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第40条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第41条 この法人が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上の承認を要する。

第8章 公益を目的とする事業

(種別)

第42条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問入浴介護事業
- (3) 高齢者向け優良賃貸住宅事業
- (4) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (5) 有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)
- (6) 地域支援事業(包括的支援事業)(地域包括支援センターの運営を含む)

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

3 第1項の事業に関する重要な事項については、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

第9章 収益を目的とする事業

(種別)

第43条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行う。

- (1) 一般向け賃貸住宅事業

(2) 不動産賃貸事業

- 2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。
- 3 第1項の事業に関する重要な事項については、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(収益の処分)

第44条 前条の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業又は公益事業（社会福祉法施行令（昭和33年政令第185号）第13条及び平成14年厚生労働省告示第283号に掲げるものに限る。）に充てるものとする。

第10章 解散

(解散)

第45条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第46条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人から選出されたものに帰属する。

第11章 定款の変更

(定款の変更)

第47条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、福井県知事の認可（社会福祉法第45条の3第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

- 2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を福井県知事に届け出なければならない。

第12章 公告の方法その他

(公告の方法)

第48条 この法人の公告は、社会福祉法人わかたけ共済部の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第49条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人設立当初の役員は次とおりとする。ただし、この法人成立後遅滞なく、この定款に基づき役員を選任を行うものとする。

理事長 白藤肇丸
理事 今村三太夫
" 田中 忠
" 喜村弥一郎
" 内田由利
" 藤季 淳
監事 平野平治郎

2 この定款は、平成29年4月1日から施行する。

昭和27年5月17日	組織変更認可	厚生省井社	第199号
昭和38年3月4日	一部変更認可	厚生省収社	第125号
昭和40年5月26日	一部変更認可	厚生省社庶	第47号
昭和48年6月29日	一部変更認可	厚生省社	第598号
昭和51年7月29日	一部変更認可	厚生省社	第682号
昭和52年7月4日	一部変更認可	厚生省社	第640号
昭和55年4月10日	一部変更認可	厚生省社	第454号
昭和56年7月8日	一部変更認可	厚生省社	第688号
昭和62年9月28日	変更認可	福井県指令社福	第1731号
平成2年3月20日	変更認可	福井県指令社福	第196号
平成4年4月6日	変更認可	福井県指令福政	第207号
平成6年6月20日	変更認可	福井県指令5福政	第1758号
平成7年4月7日	一部変更認可	福井県指令福政	第451号
平成8年8月19日	変更認可	福井県指令福政	第1236号
平成10年3月10日		福井県指令福政	第 号
平成10年9月3日		福井県指令福政	第 号
平成11年3月30日		福井県指令福政	第 号
平成12年5月26日		福井県指令福政	第 号
平成13年5月30日		福井県指令福政	第 号
平成14年10月31日	変更認可	福井県指令福政	第1807号
平成15年4月23日	一部変更認可	福井県指令高齢	第519号
平成15年7月16日	一部変更認可	福井県指令高齢	第1084号

平成 15 年 7 月 25 日		福井県指令高齢	第	号
平成 16 年 9 月 14 日	一部変更認可	福井県指令高齢	第 1270 号	
平成 17 年 11 月 25 日		福井県指令高齢	第	号
平成 20 年 7 月 30 日	一部変更認可	福井県指令長	第 1290 号	
平成 21 年 7 月 14 日	一部変更認可	福井県指令長	第 1367 号	
平成 24 年 3 月 9 日	一部変更認可	福井県指令長	第 417 号	
平成 25 年 1 月 25 日	一部変更認可	福井県指令長	第 100 号	
平成 28 年 4 月 1 日	一部変更認可	福井県指令長	第 663 号	
平成 29 年 1 月 20 日	一部変更認可	福井県指令長	第 13 号	
令和 3 年 2 月 18 日	一部変更認可	福井県指令長	第 97 号	
令和 3 年 4 月 8 日	一部変更認可	福井県指令長	第 317 号	
令和 3 年 6 月 30 日	一部変更認可	福井県指令長	第 594 号	
令和 5 年 7 月 7 日	一部変更認可	福井県指令長	第 645 号	

別 表

- 1 福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 24 番地 2、20 番地 2 所在の鉄骨造鉄板葺平家建 倉庫 1 棟 (延 386.73 m²)
福井県越前市高森町 18 字大ノ道 7 番地 2 所在の鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 わかたけ認定こども園 1 棟 (延 1,757.71 m²)
福井県越前市高森町 18 字大ノ道 7 番地 2 所在の木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 保育所 1 棟 (延 91.01 m²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 9 番地 1 所在の鉄骨造陸屋根 4 階建 養護老人ホーム 1 棟 (延 1,851.81 m²)
福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 24 番地 1、25 番地 2、25 番地 8 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 特別養護老人ホーム 1 棟 (延 1,116.92 m²)
福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 19 番地 4、16 番地 1、16 番地 2、17 番地 2、17 番地 3、18 番地 3 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 在宅老人デイサービスセンター 1 棟 (延 481.05 m²)
福井県越前市白崎町 34 字京川 3 番地 2、1 番地 1、1 番地 2、2 番地 1、2 番地 2、2 番地 5、3 番地 1、3 番地 3、4 番地 1、18 番地 2 所在の鉄筋コンクリート・鉄骨造瓦葺 2 階建 特別養護老人ホーム第 2 和上苑及び在宅老人デイサービスセンター第 2 和上苑 1 棟 (延 3,541.92 m²)
福井県越前市白崎町 34 字京川 3 番地 2、1 番地 1、1 番地 2、2 番地 1、2 番地 2、2 番地 5、3 番地 1、3 番地 3、4 番地 1、18 番地 2 所在の鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根 2 階建 特別養護老人ホーム第 2 和上苑 1 棟 (延 1,887.87 m²)
福井県越前市白崎町 34 字京川 3 番地 2、1 番地 1、1 番地 2、2 番地 1、2 番地 2、2 番地 5、3 番地 1、3 番地 3、4 番地 1、18 番地 2 所在の鉄筋コンクリート造瓦葺陸屋根 1 階建 厨房 1 棟 (延 142.17 m²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 9 番地 1、33 字内垣内 2 番地、10 番地 1、10 番地 2、11 番地 1、11 番地 2、12 番地 1、13 番地 2、16 番地 2 所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 知的障害者支援センター 1 棟 (延 1,956.75 m²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 9 番地 1、33 字内垣内 2 番地、10 番地 1、10 番地 2、11 番地 1、11 番地 2、12 番地 1、13 番地 2、16 番地 2 所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 機械室 1 棟 (延 19.98 m²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 9 番地 1、33 字内垣内 2 番地、10 番地 1、10 番地 2、11 番地 1、11 番地 2、12 番地 1、13 番地 2、16 番地 2 所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 倉庫 1 棟 (延 1,285.32 m²)
福井県越前市本多二丁目 5 字南高道 3 番地、4 番地 2、5 番地 2 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根・亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 デイサービスセンターわかたけ 1 棟 (延 430.00 m²)
福井県越前市本多二丁目 5 字南高道 3 番地、4 番地 2、5 番地 2 所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建 老人福祉施設 1 棟 (延 131.58 m²)
福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 16 番地 1、12 番地 2、15 番地 1 所在の鉄骨造亜鉛メッキ

鋼板葺 2 階建 エスポアールわかたけ及びラポールわかたけ 1 棟 (延 1,171.11 m²)

福井県鯖江市鳥羽三丁目 143 番地、141 番地、142 番地、144 番地、145 番地所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 デイサービスセンターいろり 1 棟 (延 267.79 m²)

福井県越前市高木町 12 字綾織町 7 番地 1、9 番地 1 所在の木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 居宅介護施設わきあいあいわかたけ 1 棟 (延 331.35 m²)

福井県鯖江市鳥羽三丁目 141 番地、142 番地、143 番地、144 番地所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき 2 階建 居宅介護施設もんざえもん 1 棟 (延 417.98 m²)

福井県越前市西谷町 15 字坂 9 番地 1 所在の木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 デイサービスセンターうらら家わかたけ 1 棟 (延 190.10 m²)

福井県越前市高木町 12 字綾織町 9 番地 1、7 番地 1、11 番地 1、14 番地 1、15 番地 1、17 番地 1 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根 5 階建 特別養護老人ホーム第 3 和上苑・そよかぜ保育園 1 棟 (延 7,672.69 m²)

2	福井県越前市本多二丁目5字南高道3番	土地1筆	(512.39 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上20番1	土地1筆	(578.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上24番2	土地1筆	(826.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上23番2	土地1筆	(538.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上20番2	土地1筆	(409.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上23番1	土地1筆	(638.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上24番1	土地1筆	(826.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上23番3	土地1筆	(95.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上26番2	土地1筆	(333.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上17番2	土地1筆	(9.91 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上17番3	土地1筆	(97.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上18番2	土地1筆	(9.91 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上18番3	土地1筆	(86.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上19番2	土地1筆	(29.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上19番3	土地1筆	(26.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上19番4	土地1筆	(135.00 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上25番2	土地1筆	(1,296.02 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上25番8	土地1筆	(57.18 m ²)
	福井県越前市瓜生町54字中藪6番1	土地1筆	(740.00 m ²)
	福井県越前市西谷町15字坂9番1	土地1筆	(11,566 m ²)
	福井県越前市西谷町16字坂口6番1	土地1筆	(278 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内2番	土地1筆	(935 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内1番1	土地1筆	(322 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内1番2	土地1筆	(40 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内10番1	土地1筆	(633 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内10番2	土地1筆	(47 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内11番1	土地1筆	(646 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内11番2	土地1筆	(55 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内12番1	土地1筆	(779 m ²)
	福井県越前市西谷町33字内垣内12番2	土地1筆	(7.26 m ²)
	福井県越前市瓜生町33字上岸ノ上12番2号	土地1筆	(597.94 m ²)
	福井県越前市高森町18字大ノ道7番3	土地1筆	(494 m ²)
	福井県越前市上太田町36字登末1番18	土地1筆	(1.20 m ²)
	福井県鯖江市鳥羽三丁目141番	土地1筆	(376.35 m ²)
	福井県鯖江市鳥羽三丁目142番	土地1筆	(69 m ²)
	福井県鯖江市鳥羽三丁目143番	土地1筆	(314 m ²)
	福井県鯖江市鳥羽三丁目144番	土地1筆	(151 m ²)
	福井県鯖江市鳥羽三丁目145番	土地1筆	(16 m ²)

福井県越前市西谷町 33 字内垣内 13 番 2	土地 1 筆	(499 m ²)
福井県越前市西谷町 33 字内垣内 14 番 2	土地 1 筆	(8.10 m ²)
福井県越前市西谷町 33 字内垣内 15 番	土地 1 筆	(46 m ²)
福井県越前市西谷町 33 字内垣内 16 番 2	土地 1 筆	(143 m ²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 11 番	土地 1 筆	(981 m ²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 14 番 2	土地 1 筆	(2,625 m ²)
福井県越前市西谷町 15 字坂 15 番 1	土地 1 筆	(1,897 m ²)
福井県越前市西谷町 16 字坂口 1 番 1	土地 1 筆	(155 m ²)
福井県越前市高木町 12 字綾織町 7 番 1	土地 1 筆	(1,271.30 m ²)
福井県越前市高木町 12 字綾織町 9 番 1	土地 1 筆	(1,202.97 m ²)
福井県越前市高木町 12 字綾織町 11 番 1	土地 1 筆	(1,060.63 m ²)
福井県越前市高木町 12 字綾織町 14 番 1	土地 1 筆	(575.37 m ²)
福井県越前市高木町 12 字綾織町 15 番 1	土地 1 筆	(569.42 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 3	土地 1 筆	(133.46 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 4	土地 1 筆	(6.99 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 5	土地 1 筆	(7.99 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 6	土地 1 筆	(152.58 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 11	土地 1 筆	(0.99 m ²)
福井県鯖江市鳥羽三丁目 140 番 12	土地 1 筆	(19.06 m ²)
福井県越前市本多二丁目 5 字南高道 4 番 2	土地 1 筆	(97.95 m ²)
福井県越前市本多二丁目 5 字南高道 5 番 2	土地 1 筆	(10.51 m ²)
福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 32 番	土地 1 筆	(134.81 m ²)
福井県越前市瓜生町 33 字上岸ノ上 33 番	土地 1 筆	(73.42 m ²)

3 現金 5万円也